

新潟県 看護協会だより

第134号
平成30年2月20日発行

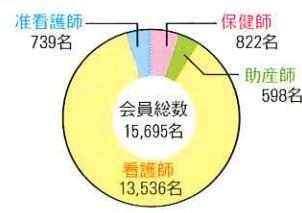


CONTENTS

会長あいさつ	2
緩和ケア認定看護師教育課程	3
看護学会	4~5
施設紹介	6~7
新刊図書のお知らせ	7
平成29年度 瑞宝単光章受章	8
優良看護職員厚生労働省大臣表彰受賞	8
新人ナース交流会	8
職能委員会意見交換会報告	9
ナースセンターからのお知らせ	10~11
お知らせコーナー	12

発行 公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2丁目11番地
☎ 025-265-1225(代表)
FAX 025-266-1199
<https://www.niigata-kango.com/>
編集 広報委員会

新潟県看護協会会員数
平成30年2月6日現在



会員総数 15,695名

保健師 822名 看護師 13,536名
助産師 598名 准看護師 739名

未加入の人に加入を勧めてください

知事への要望書提出



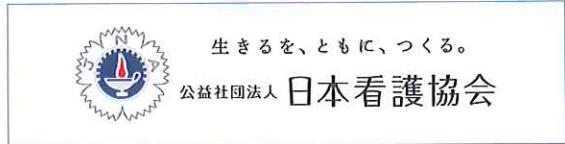


ご挨拶

公益社団法人新潟県看護協会 会長 奥村 麗子

まだ寒さも厳しく天候も不安定になりがちですが、日が長くなり少しずつ春の訪れを感じる頃となっていました。お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。昨年6月に会長に就任し、会員の皆さんにご支援、ご協力をいただき事業を進めてまいりました。お蔭様で平成29年度に計画いたしました事業は、順調に推移しております。感謝申し上げます。

さて、日本看護協会は2025年に向けた看護の挑戦「看護の将来ビジョン」を全ての看護職、生活者、そして社会全体に広く伝えていくため、このたびタグライン「生きるを、ともに、つくる。」を作成しました。一人ひとりが考え、これからのは在宅医療をささえる力になる看護職に期待しています。平成30年度におきましても、地域包括ケアの推進など社会の動向を捉えながら、平成29度の重点目標を基本に、更なる充実した事業計画を勧めてまいりたいと考えております。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。まだ厳しい寒さが続きます。皆さまにとって、今年も幸多い年であります様お祈りいたします。



(公益社団法人 日本看護協会ホームページ参照)

新潟県看護協会の動き

緩和ケア認定看護師教育課程

平成29年10月から開講いたしました緩和ケア認定看護師教育課程は、順調にすすみ、修了までもう少しのところまで来ました。県内での認定看護師教育課程開催は、長年の願いであります前佐藤会長時代に取り組み、新潟県からの受託事業として実現したものです。

次年度も引き続き開講に向け、準備を進めているところです。

新潟県看護研修センターあり方検討委員会(特別委員会)

昭和60年の研修センター設立当初より、会員数は約2倍、研修数は約8倍となり、事業費規模も約5倍に増加しています。公益法人としての看護協会の役割を果たす上で機能的・構造的側面から、課題と展望を見据えた検討を行い方向性を示すため、あり方検討会を設置し活動を開始いたしました。

米山県知事へ平成30年度予算に対する要望書提出

12月5日に新潟県庁に出向き、米山新潟県知事・藤山福祉保健部長に説明を交えながら要望書を手渡しました。

要望事項は、以下の項目です。詳しくは新潟県看護協会ホームページをご覧ください。

1 看護職員確保対策

- (1) 看護職員の定着促進
- (2) 看護基礎教育の体制強化
- (3) ナースセンターの機能強化

2 在宅医療の推進

- (1) 訪問看護師の確保・定着対策
- (2) 訪問看護ステーションの機能強化
- (3) 訪問看護の推進

次年度の研修受講料見直しについて

少子高齢社会等の社会情勢の変化に合わせ年々研修事業の充実を図っておりますが、運営費等が増加しています。また、消費税率引き上げ時にも受講料を据え置いてきました。他県と比較いたしましても当協会の受講料単価は低額であり、受益者負担の観点から平成30年度から受講料の改定をすることとしました。

詳しくはHPおよび後日配付する平成30年度教育研修計画冊子を参照してください。

緩和ケア研修の報告

「平成 29 年度緩和ケア認定看護師教育課程開講にあたり」

緩和ケア認定看護師教育課程 主任教員 広井 貴子

本教育課程が開講され、4か月余りが過ぎました。専門性の高い講師の先生方からご教授して頂き、看護実践者としての見識を深めております。講義では質問も多く、朝早くから閉館ぎりぎりまでいる方もおり積極的に学習しております。1月から2月中旬にかけ、県内や近隣県の緩和ケア病棟と訪問看護ステーションで臨地実習を行います。28名の受講生々が、豊かな感性をもって看護実践の展開を行います。今後共ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。

＊＊＊

緩和ケア認定看護師教育課程 専任教員 寺澤 知子

私は、緩和ケア認定看護師教育課程を卒業後11年目になり、本教育課程の専任教員の役割を担いました。新潟県内の緩和ケア認定看護師数は22名と少ないため、本教育課程の受講生が緩和ケアを実践し、県内の医療の質の向上を担えることが期待されています。

教育課程での学びは、できない自分に直面しつらいこともありますが、ここで出会った仲間とケアしケアされながら自己をみつめ成長していく過程を支えていきたいと思います。

受講者の声

病気で苦しむ患者さんに対して、その人らしく生きるために、看護師として何ができるのか、また、看護チームのメンバーとしてできることはいかないか。その思いから、私は緩和ケア認定看護師教育課程を受講しました。

根拠や理論に基づいたケアを提供するために、日々知識を深めています。またロールプレイングやグループセッションも多く、感性を磨くことのできる機会となっています。多くの仲間達と毎日刺激をし合える素晴らしい環境です。

国立病院機構西新潟中央病院 山田 清達

＊＊＊

地域包括ケアシステムにより医療が病院から在宅にシフトし、様々な疾患や症状を持った利用者が増えました。在宅で生活する人やその家族が持つ苦痛を理解し、その人が最期まで自分らしく住み慣れた場所で生活できるように支援し、スピリチュアルケアができる、専門性を持った訪問看護師になりたいと思い入学しました。講義もあと少しで終了します。そして実習でさらに実践と役割を学び、修了、認定試験をみんなで合格したいと思います。

社会医療法人桑名恵風会すずらん訪問看護ステーション 中野 美佳

＊＊＊

私は県央地域から高速バスで通っています。入学当時は、夜遅くまで課題をやり、朝早起きして長い通学時間という生活に不安もありました。しかし、今では車中での時間を睡眠不足を補ったり本を読んだりと有効に利用するようになりました。また、授業では、みんなで感動で泣いたり笑ったりと楽しく過ごしています。素敵な講師にも沢山出会いました。私は、患者さんとご家族が最期の時までその人らしく「生きる」ための手助けができる緩和ケア認定看護師を目指します。

労働者健康安全機構 燕労災病院 加藤 紗愛

研修の
様子



平成29年度 新潟県看護協会看護学会

日 時 平成29年12月1日(金)
場 所 朱鷺メッセ
参 加 人 数 808名
(看護職 459名 学生 349名)

口演 20題 示説 17題

テーマ
『地域の暮らしを支える
看護の未来』



看護協会看護学会の様子について

学会委員長
新潟大学 関 島 香代子

学会当日、前日からのあいにくの雪まじりの雨の天気で、参加者のみなさんが無事に来場するか気がかりでした。そんな心配をよそに、開場時間には既に大勢の来場があり、平成29年度新潟県看護協会看護学会は順調に走り出しました。第一会場スノーホールでの看護フォーラム、特別講演のみならず、口演発表、示説発表のいずれも大勢の参加があり、着席の会場では座席が足りなくなるほどの盛況でした。各会場での質疑応答も概ね良好に円滑に進行できました。

長い期間をかけて研究に取り組みその成果を発表した発表者のみなさん、より良い発表に向けて論文指導を担当されたみなさん、座長を担当されたみなさん、ご協力ありがとうございました。

学会の運営は、学会委員が所属施設や職務の異なる立場から意見を出し合い、想定される状況をシミュレートして、必要な対応を考えました。新潟県看護協会の担当理事をはじめ担当者の支援を得て、準備を整えました。当日は、新潟県看護協会役員のみなさんの力添えを得ました。多くのご協力のおかげで、大きなトラブルなく、最後まで執り行うことができました。心より御礼申し上げます。



ポスターセッション



演題発表

看護フォーラム

地域包括ケアを支える人材育成

～いのち・くらし・尊厳を守り支える看護を展開するために～

講師 洪 愛子（神戸女子大学 教授・元日本看護協会 常任理事）

座長 加藤 栄子（立川総合病院 認定看護管理者）



参加者の声

- 特定行為研修や認定看護師に興味を持った。
- 退院後の患者さんの生活のイメージを持って退院支援したいと思った。
- 普段の授業では聞けないことを学べたので、新鮮だった。（学生）

特別講演

医療・介護政策としての地域包括ケア

～活力ある高齢化社会を創造するために～



講師 宮島 俊彦（岡山大学客員教授・元内閣官房社会保障改革担当室長）

座長 平澤 則子（新潟県立看護大学 教授）

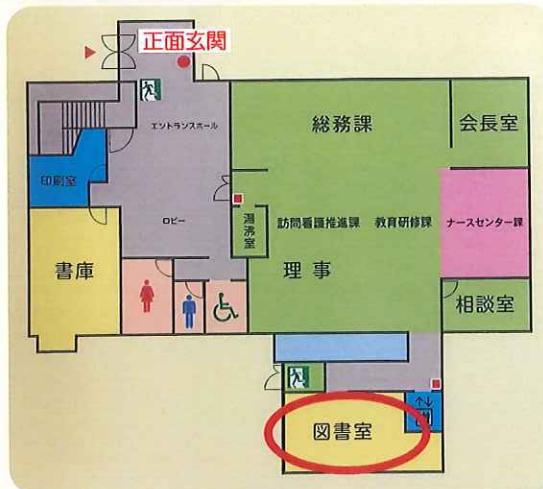


参加者の声

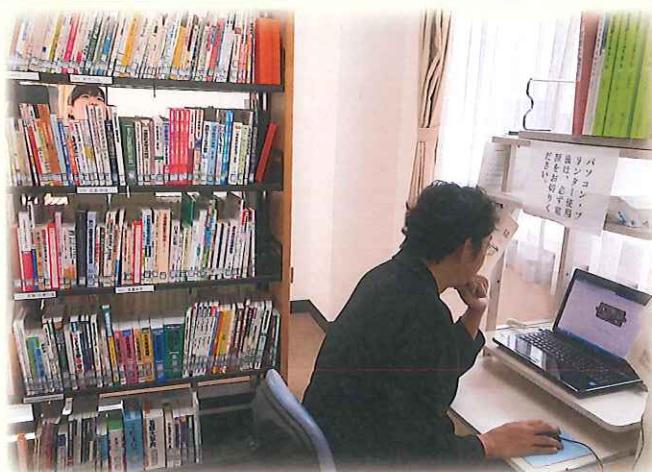
- 高齢化に伴い必要とされる医療の形が変化している事を実感した。
- 実例を交えてのわかりやすい講演だった。

新潟県看護研修センターの図書室

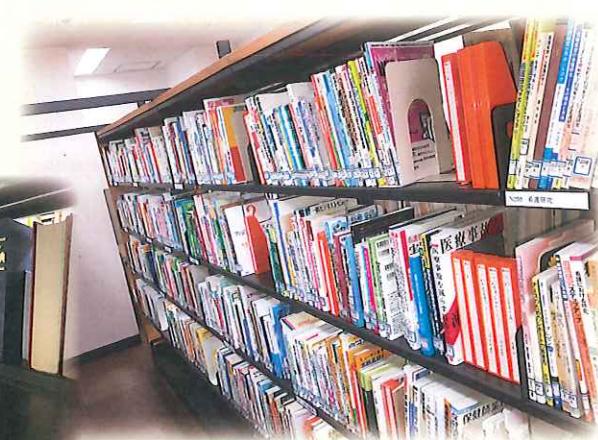
新潟県看護協会所有の蔵書は、次のように分類されています。NDC 図書:357 冊・看護史図書:305 冊・看護分類図書:2,882 冊となっており、特に長期の研修、認定教育(管理・緩和)課程等では期間中に多くの蔵書が借用されています。不定期ではありますが図書司書が蔵書の管理を行っています。身近な図書を準備しておりますので来館の際は図書室をご利用ください。なお、利用については HP 上に掲載しております。



図書室は事務室奥にあり、利用の際には事務の方にお声掛けください。



室内の様子 新刊図書もあり、検索もできます



貸出カードに図書名、氏名、所属などを記入。カードをオレンジ色の図書代本版に入れ、収納してください

※利用する際には、新潟県看護協会会員証をご持参ください。是非ご利用ください。

新刊 図書案内

No.	題名	編著者	出版社
1	看護論 25年後の追記を添えて	ヴァージニア・ヘンダーソン 著 湯瀬ます・小玉香津子 訳	日本看護協会出版会
2	看護 形態機能学 第4版	菱沼 典子 著	"
3	助産師業務要覧 第3版 2018年版 I 基礎編	福井トシ子 編	"
4	助産師業務要覧 第3版 2018年版 II 実践編	福井トシ子 編	"
5	助産師業務要覧 第3版 2018年版 III アドバンス編	福井トシ子 編	"

新潟青陵大学の図書館

2017年 青陵大学は新校舎を竣工しました。新校舎に図書館も移転し4月 24日に新図書館としてオープンしました。

新潟県看護協会会員の方は、身分証明書と一緒に協会会員証をご提示いただければ新規のみ無料で登録できます。

今回、広報委員会は、青陵大学の図書館に見学に伺い、取材させて頂きましたので紹介したいと思います。



出入り口は1階と2階にあります。
初めての方は1階のサービス・カウンターで受付をしてください。



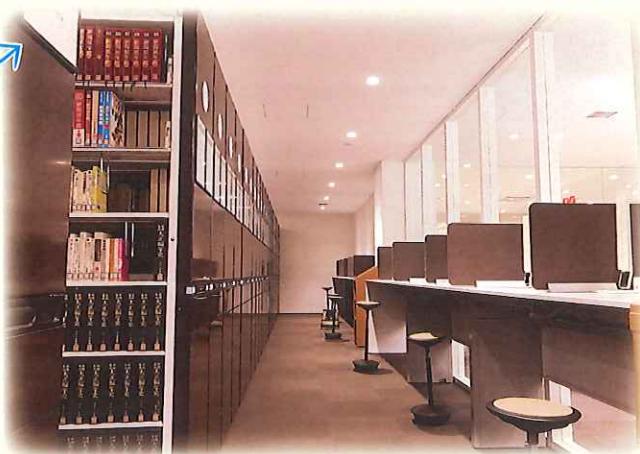
〈えほんのもり〉
小学生以下の子供様も一緒に利用することができます。



明るい室内で個人スペースもあります。
静かな環境で学習できます。



開放的で、デザイナリィ性に
優れています。



借りたい本を置くだけで認証してくれて、とても便利です。



カフェコーナーもあります!!



おめでとうございます

* 平成29年度 秋の瑞宝単光章 受賞 *

渋 谷 紀美子 様
(燕労災病院 看護部長)



丸 山 紀 子 様
(新潟労災病院 看護部長)



* 優良看護職員厚生労働省大臣表彰 受賞 *

多 田 雪 子 様
(五日町病院 准看護師職員)



斎 藤 有 子 様
(新潟地域振興局健康福祉部 部長)



長 沢 京 子 様
(新発田地域振興局健康福祉環境部 副部長兼企画調整課長)



新入看護職員交流会について

11/8（水） 看護協会にて新入看護職員の交流会が行われました。

やりがいや誇りを持って看護を実践していくために、様々な学びの機会になりました。

新潟東支部の様子…



職能委員会 意見交換会報告

保健師職能委員会

テーマ

「ひきこもりの方への切れ目ない支援をめざし、学び会おう！」

日時：平成 29 年 11 月 11 日（土）

13:00～16:00

会場：新潟県看護協会 中研修室

内容：話題提供（新発田市、佐渡市の取組について）、情報交換

助言 新潟青陵大学大学院看護学研究科
教授 斎藤まさ子先生

参加者数：36名

今回は、長期にわたるひきこもりの方への支援に関わる様々な機関・職種にも声をかけ開催しました。県内の先駆的取組に学ぶ支援のあり方、家族支援の重要性、多くの機関等の関わりによる支援の広がりを再認識し、今後の効果的な活動を進める上でのヒントをいただきました。



看護師職能Ⅰ委員会

テーマ

「アンガーマネジメント学ぶことで回避しよう」

意見交換会は 10 月 21 日（土）にリーダーを担う看護師が職務上のストレスな状況を「アンガーマネジメント学ぶことで回避しよう」という目的で企画し、参加者は 98 名でした。光前講師は急性期病棟の看護師で前日は深夜勤明けでした。看護師ならではの「怒りの場面」を共有し、怒りへの対処方法や自らの怒りに係る「べき」という観念を自分とは違う他人に合わせたり、許容したりしながら快適に生きる方法を学びました。実際に怒りの事例をグループ内で共有したことでのストレスの発散ともなり、多くの参加者の笑顔がみられ「部署でも伝達します」との声が聞かれました。



助産師職能委員会

テーマ

「妊産婦に対する援助的コミュニケーション～聴くことは伝えること～」

平成 29 年 10 月 23 日（受講者：28 名）テーマ「妊産婦に対する援助的コミュニケーション～聴くことは伝えること～」講師：新潟大学医学部保健学科准教授渡邊岸子先生。セラピストとしての 3 つの条件と 5 つの技法についての講義と助産師役と対象役でのロールプレイを体験しました。「専門的知識をわかりやすく学べた」「今後に活かしたい」「自分の話し方の傾向が分かった」等の意見があり、実り多い研修会となりました。



看護師職能Ⅱ委員会

テーマ 「職場における OJT」

今年度の職能Ⅱの 1 年を通じてのテーマは、介護福祉施設・在宅領域勤務の看護管理者育成の活動です。11 月 25 日（土）には前年度に続き、「施設管理者研修」を実施しました。参加者は 73 名で、昨年度 26 名の倍以上の参加で新しい試みで、他職種の介護士のリーダー達 22 名にも参加をしてもらっています。職能Ⅱは介護と看護が協力して働いている職場です。お互いのリーダーの育成的重要性を考えています。

講師は「株式会社マイステルジャパンに所属されている、代表取締役、関谷裕一氏より「職場における OJT」の研修を行ってもらいました。関谷氏のコーチングによる部下指導の経験をもとに丁寧で分かりやすく講義を聞く事ができました。午後は看護、介護と別のグループで、管理職で困っている事をグループワークし、情報交換から、管理者達の日々悩みながら働いている姿がうかがえました。

介護士の方からも、「他施設との情報共有ができた」、「面白い研修だった。」との新鮮味のある感想がありました。共同の研修を行い、協力して働いていける将来性のある研修であったと感じます。来年度も、職能Ⅱでは合同の研修を増やしていくと考えています。

これからも職能Ⅱ活動の発展のため頑張りますので、ご協力と応援をお願いします。

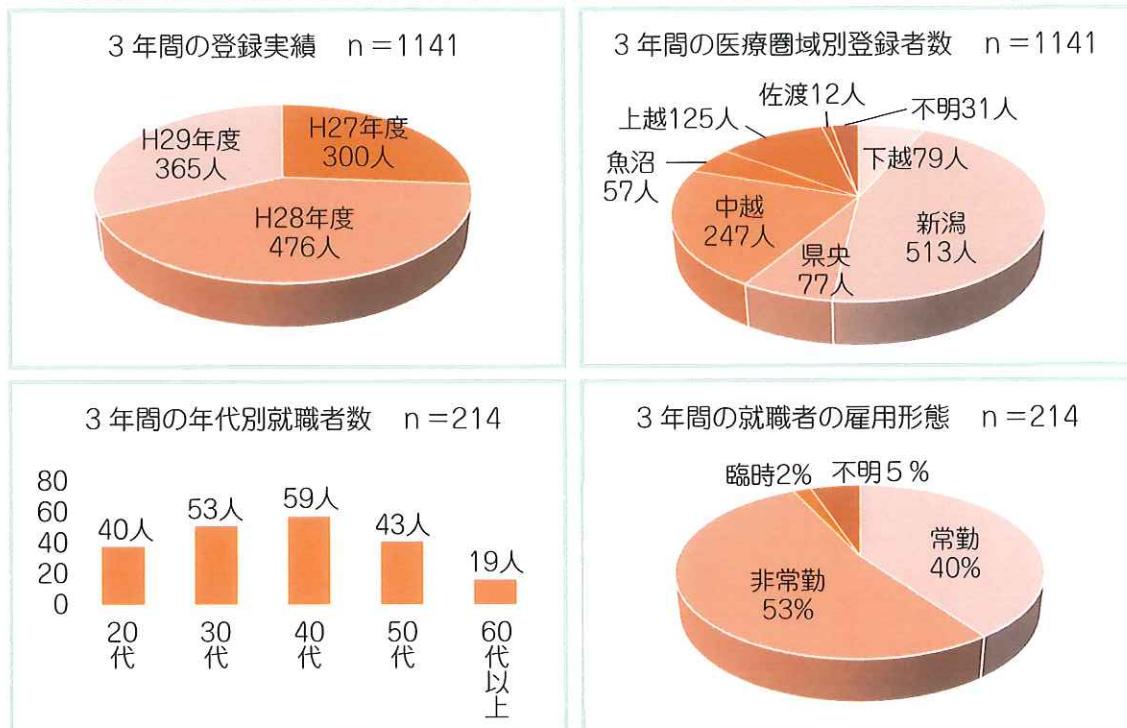


ナースセンターからのお知らせ

~~とどけるん~~

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が改正され、平成27年10月1日から施行されました。（届出は努力義務）保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら一時的に退職する方、未就業の方に各都道府県ナースセンターへ届け出ていただく制度です。

☆新潟県の届出登録数は1141人です。（H27年10月からH29年12月末まで）



☆届けるとどうなるの？

届出情報をもとに求人と求職を結ぶ支援を行います。離職中の看護職の方とつながりを持つ再就職を目的に各個々に応じた①復職研修②無料の職業紹介③相談員による情報提供、アドバイスなどの支援が受けられます。

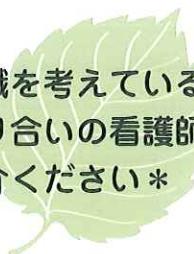
☆届出の方法はどうするの？



医療機関等の
施設の方へお願い

離職時の届出制度の
説明と、届出への支
援（代行登録）をよ
ろしくお願いします。

*再就職を考えている
お知り合いの看護師さんを
ご紹介ください*



とどけるん
QRコード



看護のお仕事相談会&周知活動 in 長岡 ～リバーサイド千秋～

現在、長岡にはナースセンターの相談窓口がないため、12月23日（土）、1月24日（水）に長岡のリバーサイド千秋において、ナースセンターのPRをしてきました。大雪にもかかわらず7名の方が相談に来られました。また、買い物途中に足を止めていただき、アンケートにも協力していただきました。今後もこのような取り組みを実施し、ナースセンターの周知に力を入れていきたいと思います。

お知り合いの職場復帰を考えている看護師さんがいらっしゃいましたら、是非ナースセンターのご紹介をお願いします。



★平成29年度看護職員再就職支援セミナー報告★

<体験コース>では、22名の受講者が病院や介護施設、訪問看護ステーションで実習を行い、実際の現場を体験されました。

黒崎病院での体験コース受講後の声をお届けします。

受講者の声

介護施設での勤務が長く、病院で働きたいと思い、体験コースを受講しました。一日だけでしたが実際の業務の流れを教えてもらい、また、スタッフの方々からも丁寧に説明していただき色々と聞きやすかったです。

再就職にあたり、自分の年齢や体力の面で不安が大きかったのですが、実際の職場で体験ができるため、就職を考える前に具体的にイメージがしやすく非常に良い機会でした。ありがとうございました。

黒崎病院 看護部長 鈴木 由美子

受講者は積極的に実習をしていました。実際の業務を体験し就業時のイメージができ、ご自分の考えと違いも体感し、成果があったかと思います。当院にとっては入職に繋がることが成果ですが、看護職としてどこかの施設に入職していただければ嬉しく思います。

ご協力いただきました施設関係者の皆様、ありがとうございました。

平成30年度 体験コースの受入協力施設を募集しています。

ご協力いただける施設は、3月2日までにお申し込みをお願いします。詳しくは、新潟県看護協会ホームページをご覧ください。

相談員からの声

求職相談では、WLBを考えて仕事をしたい、子育て中で時間は限られているけれど、看護職で働きたい！などの声を聴きます。希望の条件でのマッチングはなかなかむずかしいこともありますが、その方に合った職場をとことん一緒に探していくという気持ちで相談にあたっています。就職に結びついた連絡を受けると、とてもうれしい気持ちになります。

求人施設におかれましては、求職者に情報提供、紹介をするにあたり貴施設でのWLB取組等をぜひ、お聞かせください。



重要!! 研修会受講に係る受講料について

【会員の受講料で受講ができる方：県協会でH30年度の会員手続完了の確認が取れた方】

- ・会員手続完了の確認が取れた方とは、研修の申込期間終了日のおおむね1週間前を目安にH30年度の「入会申込書／会員情報変更届」を提出し、かつ会費を納入した方

研修計画冊子配布前に申込期間が始まる主な研修の会員手続の目安日

- | | |
|--------------------|------------|
| ・訪問看護従事者研修会（実践編） | 2月 9 日（金） |
| ・セカンドレベル研修 | 3月 15 日（木） |
| ・看護の将来ビジョンと看護職への期待 | 3月 23 日（金） |
| ・ファーストレベル研修 | 4月 11 日（水） |



研修案内 ファーストレベル・セカンドレベル募集期間

○セカンドレベル募集期間 2月 21 日～3月 22 日

○ファーストレベル募集期間 3月 20 日～4月 17 日

※詳細についてはHP参照（できるだけWEB申し込みをお願いします）

研修案内 訪問看護従事者研修・在宅看護研修

○訪問看護従事者研修 実践編 4月 14 日～9月 15 日 公開講座：看護職以外の受講可

○訪問看護従事者研修 管理編 8月 25 日～10月 27 日

○在宅看護研修 10月 13 日～12月 15 日

受講費用：資料代等会員 1日 500 円 非会員 1,000 円

研修案内 「看護の将来ビジョン」「診療報酬・介護報酬改定説明会」

○看護の将来ビジョンと看護職への期待 4月 26 日 13:30～15:50 川本 利恵子 日本看護協会常任理事

○平成 30 年度診療報酬・介護報酬改定説明会 3月 31 日（土）開催分申込に余裕がございます

«お詫び»

看護協会だより第 133 号の 8 頁に掲載した平成 29 年度研修受講の感想「ファーストレベルを受講して」の記事において、看護協会の転記誤りがありましたのでお詫びするとともに、訂正した記事を掲載いたします。

新潟大学医歯学総合病院 副看護師長 青木 美栄子

私は、感染管理部門の副看護師長であり感染管理認定看護師として、感染管理教育に携わっています。感染対策の質の向上を目指して、より効果的な看護師の指導や支援方法を考察するために本研修を受講しました。研修で人材育成やマネジメントの理論を系統的に学び、当院の感染管理教育を再構築し感染対策の質の改善を図りたいと考えています。また、地域連携の重要性が増すことを見据え、自身の立場で積極的に取り組みたいと考えています。

《看護協会だより》表紙の写真大募集 !!

看護協会だよりの表紙に看護協会員の皆さんのが生き生きと働く姿を載せてみませんか？風景や建物ではなく人物の写真を募集します。メールでお送りください。

宛先 koho@niigata-kango.com



協会事務局各部署の電話番号

総務課 電話 (025) 265-1225 / (025) 233-6550
FAX (025) 266-1199

ナースセンター課 電話 (025) 233-6011
FAX (025) 265-4188

訪問看護推進課 電話 (025) 265-4188
FAX (025) 233-7672

教育研修課 電話 (025) 265-1253 / (025) 265-1254
(025) 265-1256 / (025) 265-1343
(025) 265-1344 教育担当事務
FAX (025) 233-7672 / (025) 266-1199